

私の夢 / My dream

ンティバ ケツィア

Ntiba Ketsia

私は栃木県に住むコンゴ民主共和国出身の中学1年生の女子です。小学1年生の時に日本にきました。私には二つの夢があります。それは医師になり、「国境なき医師団」で働くこと、もう一つが建築士になることです。この二つを聞くと、全然違う職業だとも思いますが、私の夢としてつながっています。それをお伝えしていきたいと思います。

現実の私と中学生活

まず、私の中学校での生活のことを少し紹介したいと思います。今は中学1年生で、2021年3月に小学校を卒業しました。小学生の時の友達の多くが違う中学校に行ってしまうりましたが、今でも連絡を取り合うほど仲が良いです。でも中学校にも小学校からの親友がいるので楽しい学校生活を送っています。

しかし、小学校生活と中学校生活ってすごく違って、びっくりしました。予想していた以上に、校則とかいろいろと多くて、中学は社会に出るための準備の場というのは分かりますが、ありすぎでは!？と友達と話しています。

中学校に入学して驚いたことをランクづけして、トップ3を伝えようと思います。

第3位は、教科書の量です。小学生の時に重く思っていたものが今では「軽!」と思えるほどすごく重いです。「こんなの中学生が持っているの?」って思います。私は自転車通学なので歩きの人よりは楽な思いをしています。自転車から降りて荷物を持った時の重さはもう言い表せないくらい重いです!

第2位は、先輩と後輩の上下関係です。小学校の時先輩という存在はいましたが、そんなに上下関係は厳しくはなく、みんな仲が良かったです。中学校に入ってから上下関係が徹底され、先輩がちょっと怖い存在になりました。本当は優しいのはわかるのですが、1

年生からすると先輩って結構怖いし、あいさつとか心がけていますが、緊張して声が小さくなったりしてしまいます。でも、あいさつはとても大事なことなので、これからも心がけていきたいです。

いよいよ第1位! それは教科の先生が自分に合うか合わないかによって、理解度や点数が結構変わることです。それで自主勉強の大切さがわかりました。私の小学校では、小学5年生から自主勉強ノートをつくらなければいけないというルールがありました。最初はめんどくさいなーって思っていたのですが、中学校に入ってから改めて大事なのがありました。小学校で習慣づけていた事なので苦労せずに、どうしたら上手くまとめられるのだろうか、見返した時にわかりやすくできるだろうか、と考えながら、自主勉強ノートをまとめています。

やっぱり学校の勉強だけでは足りないということですね。自分で一生懸命勉強するからこそ、日々の積み重ねがテストの時も生きるということがわかります。これからもこれを心がけるようにしたいです!

では、本題の私の将来の夢について、話していきたいと思います。

医師になって、国境なき医師団に入る

私は、小さい頃から医師になりたいと思っていました。それはコンゴ民主共和国での生活が関係しているからです。私は日本に来ることができましたが、コンゴ民主共和国での生活はとても辛く、内戦が続く最中でした。人々は政治家や偉い人の欲望のままに動かされていく、例えるなら、そうチェスの駒のように…。しかし、人々はそれに苦しめられるだけで抵抗できないし、抵抗したら捕えられたりしてしまいます。

医療は、本当は誰もが受けることができないといけませんが、自分でお金を払って病院に行くか、その

ンティバ ケツィア：2008年生まれ、現在中学1年生。6歳で来日し、栃木県で両親と暮らす。部活はソフトテニス部。好きな食べ物は麺類（特に焼きそば、うどん）。趣味は「歌い手」の動画配信を見て、「推し」を応援すること。好きなグループは、AlbaNox（アルバノックス）、ちょこらび、騎士A。

まま自力で治すかの二つに分かれます。残念ですが、コンゴでは就職率が低く、保険もないので、多くの人々は自力で治すことを選ばざるをえません。そんな人々が世界にはたくさんいます。そのような人たちのために働きたいと思い、そのためにできる職業と考えた時に医師になりたい！そして辛い思いをしている人を救いたい！という思いで、医師になる強い意志を持ちました。

医師はたくさんの専門分野があります。どの専門医になるかは今も調べていますが、医療が進んでいないところでは手術がとても大変なことを知っている私は、外科医になりたいと思っています。小学6年生の時に自分のなりたい職業を決めたり、見つけたり調べたりする授業がありました。その時、外科医のことを調べていましたが、その前に道徳の授業の時にユニセフの勉強をしていました。そしてユニセフについてもっと調べてみようと思い、調べてみたところとてもひかれました。ですが、ユニセフは子どもを支援しています。大人の治療はできません。その後他の団体も調べるようになり、国境なき医師団のことを見つけたのです。私はそれを見て私にピッタリ過ぎないか！？と言うぐらいに驚いて、将来そこで働きたいと決めました。

建築士になる

そして、二つ目の夢は、建築士になることです。私はもともと医師一途でしたが、家の設計された図がとても好きで自分も作ってみたいな—とっていました。その二つの夢をどちらもかなえる方法はないのかと考えていました。その時、コンゴでは多くの人が住む家がない、その人たちのためにいい家を作ることができればと気づいたのです。それで建築士について調べるようになりました。



コンゴ民主共和国キンシャサのAcademy of Fine Artsの壁に描かれているCOVID-19予防・啓発の絵。
写真：REUTERS/Benoit Nyemba 2020年6月
出典：<https://www.reuters.com/news/picture/writing-on-the-wall-congolese-murals-cou-idUSKBN241117>

私は、まず医師になって、お金を貯めて、そのお金で家づくりに関わり、人々が建設の仕事を得て、家も得られるようにしたいと思っています。健康と家はみんなが必要なものです。たくさんの人が住むことができる家を作りたいです。

今の私にできること

それらの夢をかなえるために、今の私にできることは勉強をがんばる、ということです。国境なき医師団に入るためには、医師になって経験を積まなければなりません。医師になるためには医師免許が必要で、医師免許を取るためには医学部に行き、国家試験に合格しなければいけない。医学部は偏差値が高いため、たくさん勉強しなければ行けないのです。

私は、今できることを精一杯やっていきたいと思っています。そのために自主勉強をもっとしたり、ノートの色分け、英検などを勉強して、まずは希望の高校に入れるようにしたいです。

私にできることの二つ目は、礼儀です。人は礼から始まって礼で終わると言います。私はあいさつとかがちゃんできるようにして、もっと礼儀を学びたいです。

そして、三つ目は部活です。これは将来の夢に関係していませんが、私自身ががんばりたいことです。私は部活でソフトテニスをしています。もっとがんばって、県大会とかに出場できるようになるのが、今の部活での目標です。そのために基礎を身につけていきたいと思っています。

私は今はこの三つをがんばり、その先に、将来の夢をかなえられるようになりたいです！そしてたくさんの方の難民の人を救って、難民がいなくなる世界への協力をしていきたいと思っています。